

道徳教育方法研究

第9号

2003

I. 研究論文

1. 幼児の道徳性発達のあるりよう
—他者概念を視点として—

伊藤 博美

2. 学校道徳教材開発の基礎
—徳の樹を中心として—

大庭 茂美

3. 体験を生かした総合単元的な道徳学習プログラムの開発
—生命の尊さを学ぶ道徳学習—

笠井 善亮

4. 生徒の「道徳的学び」のプロセスをどのように把握し対応するか

品川 利枝 / 守次 英文

5. 英語圏の道徳教育論における徳論的アプローチの展開
—徳倫理的観点からの検討を中心に—

谷田 増幸

6. 道徳の授業は難しいか
—道徳教育研究校教員の声から—

西野 真由美

7. 畏敬の念と道徳教育
—道徳教育の目標「生命に対する畏敬の念」をめぐって—

畠中 和生

8. 中学校におけるロールプレイによる向社会性の育成に関する研究

松岡 敬興

9. 人間性を育む援助者としての教師の可能性と限界
— 専門学校における専門教科の授業実践を通して —

山下 真知子

II. 実践研究報告

1. 「道徳授業の評価チェックカード」の活用マニュアルと利用例
— 『手品師』の授業を通して —

西 享子 / 坂口 弘昭 / 植田 治昌 / 森岡 卓也

III. シンポジウム 「心の教育」を道徳授業でどのようにおこなうか

1. シンポジストの発表資料

- (1) 『心の教育』を道徳授業でどう行うか

石川 庸子

- (2) 「価値の伝達」を重視する心の教育の意義と実践

加藤 英樹

- (3) 「心の教育」を道徳授業でどのように行うか

— 「価値の発見を重視する心の教育」の側面から —

島 恒生

- (4) 司会者のまとめ

林 泰成 / 渡邊 満

IV. 会務報告

V. 日本道徳教育方法学会会則

VI. 『道徳教育方法研究』投稿規定

VII. 欧文サマリー

編集後記